

内令

一五二四

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

昭和十八年七月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第千五百二十八號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年七月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ六中「沖波」ノ下ニ「涼波」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ四八頁参照)

内令第千五百二十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年七月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令
要
登
載

1737

特修兵配置表其ノ十四中「沖波」ノ下ニ「涼波」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ二六頁参照)

○正誤

本年内令第四百三十六號本文二十六行目中「_三ハ_三」ノ誤

内令

一五二五

1738

内令提
要登載

内令第五百三十號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表中「福江」ノ下ニ「對馬」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七二頁参照)

内令第五百三十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七ノ二中「福江」ノ下ニ「對馬」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

内令

一五二七

1739

内令第千五百三十二號

昭和十八年内令第千三百六十九號中左ノ通改正ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「大佐 附 一人」ヲ「大佐 附兼參謀 一人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第一南遣艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千五百三十三號

昭和十八年内令第千七百七十四號中左ノ通改正シ昭和十八年七月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「三十六人」ヲ「二十九人」ニ改メ「少佐、大尉 副官 一人」ヲ削ル

参照 前記内令ハ横須賀鎮守府第一特別陸戰隊ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内 令

一五二九

1740

内令

一五三〇

内令第千五百三十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年七月二十六日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部（艦載水雷艇十二隻分ノ乗員ニ充ツベキモノ）

兵 曹 十二人（横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者各四）

兵 曹、水兵 二十四人（横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者各八）

機關兵曹、機關兵 二十四人（横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者各八）

内令第千五百三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年七月二十六日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

高雄警備府（臺灣總督府海軍志願兵特別訓練所職員ニ充ツベキモノ）

大尉（水） 附 一人

1741

中少尉(水)、(機) 附 五人
兵曹長、機關兵曹長
兵 曹、機關兵曹 二十人

大尉(水) 附 一人

中少尉(水)、(機) 附 五人
兵曹長、機關兵曹長

兵 曹、機關兵曹 二十人

本人員ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

鎮海警備府(朝鮮總督府海軍志願其特別訓練所職員ニ充ツベキモノ)

内令第五百三十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍軍需部

衛生兵曹、衛生兵 一人

内令

一五三一

1742

内令第千五百三十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三南遣艦隊司令部

大 中 佐 附 兼務一人(第一海上護衛隊方面司令ノ兼務)

第十特別根據地隊

大 中 佐 附 兼務一人(第一海上護衛隊方面司令ノ兼務)

内令第千五百三十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二航空艦隊司令部

兵 曹、水 兵
機關兵曹、機關兵

十五人(特修兵適宜)

内令第五百三十九號

昭和十八年十月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年七月二十八日

海 軍 大 臣 鳴 田 繁 太 郎

海軍工作學校(工作科豫備兵講習關係ニ充ツベキモノ)

大 中 尉(工)

教官兼
分隊長

二人(横須賀、吳鎮守府在籍者 各一)

中少尉(工)、工作兵曹長

附兼教官
(教員)

四人(横須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

工 作 兵 曹

(教員)

二十六人(掌工兵)

横須賀、吳鎮守府在籍者 各九
佐世保鎮守府在籍者 五
舞鶴鎮守府在籍者 三

工 作 兵

四人(掌工兵)

衛生兵曹、衛生兵

三人

主計兵曹、主計兵

七人

内 令

一五三三

1744

内令

一五三四

内令提
要登載

内令第五百四十號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ部舞鶴防備隊ノ頭掃海特務艇ノ欄「第十九號」ノ次ニ「第二十號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ作ナリ

内令提
要登載

内令第五百四十一號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

海防艦 對馬

吳鎮守府在籍

海防艦 對馬

右警備海防艦ト定メラル

昭和十八年七月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1745

丸、河北丸及白海丸ノ項ヲ削ル

舞鶴鎮守府ノ部中第三百三十一設營隊ノ項ノ次ニ

第三百三十一設營隊

一

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル作ナリ

内令

一五三七

1748

内令提
要登載

内令第千五百四十三號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

第二十七號掃海艇

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

第三十三號掃海艇

横須賀鎮守府在籍

第二十七號掃海艇

吳鎮守府在籍

第三十三號掃海艇

右警備掃海艇ト定メラル

第四十八號驅潛艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

第四十八號驅潛艇

内令

一五三九

1749

内令

一五四〇

右警備驅潜艇ト定メラル

昭和十八年七月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百四十四號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年七月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表其ノ一中「第二十六號」ノ下ニ「第二十七號」ヲ、「第二十八號」ノ下ニ「第三十三號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七八頁参照)

内令第五百四十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令提要
要登載

1750

内令
登載

<p>昭和十八年七月三十日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>特修兵配置表共ノ十八掃海艇ノ部中「第二十六號」ノ下ニ「第二十七號」ヲ、「第二十八號」ノ下ニ「第三十三號」ヲ加フ</p> <p>(内令提要卷一、四三〇ノ三四頁参照)</p>	<p>内令第五百四十六號 海軍定員令中左ノ通改正セラレ</p> <p>昭和十八年七月三十日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>驅潛艇定員表共ノ二中「第四十四號」ノ下ニ「第四十八號」ヲ加フ</p> <p>(内令提要卷一、四一八ノ八四頁参照)</p>	<p>内令第五百四十七號 特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

内令

一五四一

1751

内令

一五四二

昭和十八年七月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八驅潛艇ノ部中「第四十四號」ノ下ニ、「第四十八號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三五頁参照)

内令撰
要登載

内令第五百四十八號

大正九年内令第二百七十三號敷設艇乗員標準等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

救難船乗員標準中「特務中少尉」ヲ「中少尉(水)」ニ、「機關特務中少尉」ヲ「中少尉(機)」ニ、「兵科尉官」ヲ「兵科尉官又ハ兵科特務士官」ニ、「看護兵曹看護兵」ヲ「衛生兵曹衛生兵」ニ改ム

(内令提要卷一、四六六ノ二六頁参照)

内令
要
義

内令第五百四十九號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

航空母艦ノ部中「冲鷹」ノ下ニ「雲龍」ヲ加フ

驅逐艦、一等夕雲型ノ項中「朝霜」ノ下ニ「早霜」ヲ加フ

潜水艦、一等伊十六型ノ項中「伊號第四十六」ノ下ニ「伊第四十七」ヲ、同伊五十四型ノ項中「伊號第五十六」ノ下ニ「伊號第五十八」ヲ加フ

同二等呂三十五型ノ項中「呂號第四十七」ノ下ニ「呂號第四十八、呂號第四十九」ヲ加フ

海防艦、古守型ノ項中「福江」ノ下ニ「天草」ヲ加フ

驅潜艇、第十四號型ノ項中「第四十九號」ノ下ニ「第五十號、第五十一號、第五十二號、第五十三號、第五十四號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令

一五四三

1753

内令提
要登載

内令

一五四四

内令第千五百五十號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

運送艦、風早型ノ項中「風早」ノ下ニ「、速吸」ヲ加フ

(内令提要卷三、四〇頁参照)

内令第千五百五十一號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ六中「涼波」ノ下ニ「、藤波」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ四八頁参照)

1754

内令
要
要
要

内令第五百五十二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「涼波」ノ下ニ「藤波」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ二六頁参照)

内令第五百五十三號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表中「對馬」ノ下ニ「六連」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七三頁参照)

内令

一五四五

1755

内令

一五四六

内令第千五百五十四號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六ノ二中「對馬」ノ下ニ「六連」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三二頁參照)

1756

内令第五百五十五號

未成ノ航空母艦雲龍定員表(假定)ヲ別表ノ通定ム

未成ノ驅逐艦早霜ノ定員表(假定)ハ驅逐艦夕雲ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ伊號第四十七潛水艦ノ定員表(假定)ハ伊號第十六潛水艦ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ伊號第五十八潛水艦ノ定員表(假定)ハ伊號第五十四潛水艦ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ呂號第四十八潛水艦及呂號第四十九潛水艦ノ定員表(假定)ハ呂號第三十五潛水艦ノ定員及

特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ第五十號驅潛艇、第五十一號驅潛艇、第五十二號驅潛艇、第五十三號驅潛艇及第五十四號驅

潛艇ノ定員表(假定)ハ第十四號驅潛艇ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ海防艦天草ノ定員表(假定)ハ海防艦占守ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ運送艦速吸ノ定員表(假定)ハ運送艦風早ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

内令

一五四七

1757

内令撰
要登載

内令

一五四八

内令第五百五十六號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

驅逐艦 藤 波

海防艦 六 連

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

吳鎮守府在籍

海防艦 六 連

右警備海防艦ト定メラル

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百五十七號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年七月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1758

關大湊警備府ノ部大湊防備隊ノ項掃海特務艇ノ欄「第十七號」ノ次ニ「第十八號」ヲ加フ

參照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令第五百五十八號

驅逐艦 早 霜

伊號第四十七號潜水艦

海防艦 天 草

第五十號驅潛艇

第五十一號驅潛艇

第五十二號驅潛艇

第五十三號驅潛艇

第五十四號驅潛艇

伊號第五十八號潜水艦

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

内 令

一五四九

1759

内令

一五五〇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

昭和十八年七月三十一日

軍艦雲龍
特務艦速吸

呂號第四十八潜水艦
呂號第四十九潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

1760

